

Press Information

2007-07-02
No.07-10

国内生産拠点の再編に関するお知らせ

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：信元 久隆 本店：東京中央区 本社：埼玉県羽生市）は、本日の取締役会において、現在取り組んでいる中期経営計画「Global 30」の一環として、東日本を中心とした国内生産拠点の再編に着手することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 国内生産拠点再編の理由

昨今の国内自動車産業を取り巻く環境は、グローバル化の進展に伴う自動車メーカーの海外生産へのシフトによる、国内自動車生産の伸び悩みなど、厳しい状況の中にあります。このような事業環境の中で、当社グループは、グローバルレベルでの熾烈な競争化で生き残っていく為に、日・米・欧・亜でのグローバル連携強化・補強を図り、グローバル拡販基盤を構築して行かなければなりません。グローバルコスト競争力強化の為に、総原価の大幅低減に向けて、グローバルグループ全体が一丸となって取り組みます。その方針の中、更なるグローバル化の加速に向けて、まずは日本が力をつけてグループの生き残りの中心的役割を果たし、率先してモデルを示す為にも、国内生産拠点の再編による経営資源の集中と有効活用により、勝ち残りのためコスト競争力に耐えられる強い企業体質づくりを進め、コストダウンを図り、グローバル拡販に結び付けてまいります。

2. 国内生産拠点再編の主な内容

今回の生産拠点再編では、以下のような移管を行います。

移管元	移管アイテム	主な移管先
曙ブレーキ三春製造(株)	ディスクブレーキ他 (生産アイテム全量移管)	曙ブレーキ福島製造(株) 曙ブレーキ岩槻製造(株) 曙ブレーキ山形製造(株)
曙ブレーキいわき製造(株)	再生ブレーキ他 (生産アイテム全量移管)	曙ブレーキ福島製造(株)
曙ブレーキ羽生製造(株)	ディスクブレーキパッド (少量品を除く)	曙ブレーキ山形製造(株) 曙ブレーキ福島製造(株)

投資額は、曙ブレーキ福島製造(株)の工場拡張も含めて 2007 年度から 2 年間で約 45 億円を計画しており、2009 年 3 月末までを目処に完了させる予定です。今後は、この方針に基づき、生産能力・生産設備の偏在是正など、経営資源の最適化を行い、さらに競争激化が予想される国内事業の競争力強化を図ってまいります。

3. 業績への影響

今後、2年間をかけて実施するものであり、2007年度業績への影響は軽微であります。

4. 従業員について

現在、群馬県館林市に建設中で2008年4月の稼働開始を予定している鋳物工場での雇用創出とあわせ従業員の雇用確保を前提に、今後、労働組合と労働諸条件について協議を進めてまいります。

5. 対象となる子会社の概要 (2007年3月末現在)

	曙ブレーキ 山形製造(株)	曙ブレーキ 福島製造(株)	曙ブレーキ 三春製造(株)
所在地	山形県 寒河江市	福島県 桑折町	福島県 三春町
当社出資比率	100%	100%	100%
売上高	11,567 百万円	7,916 百万円	9,233 百万円
代表取締役社長	郡司 健一	齋藤 一巳	前田 義秋
従業員数	315名	341名	297名
事業内容	ディスクブレーキパッド等の製造	ブレーキライニングおよび産業機械、鉄道車両用摩擦材等の製造	ディスクブレーキおよびブレーキ部品等の製造

	曙ブレーキ いわき製造(株)	曙ブレーキ 羽生製造(株)	曙ブレーキ 岩槻製造(株)
所在地	福島県 矢吹町	埼玉県 羽生市	埼玉県 さいたま市 岩槻区
当社出資比率	100%	100%	100%
売上高	1,546 百万円	4,187 百万円	27,093 百万円
代表取締役社長	武藤 英夫	近藤 清	佐藤 光夫
従業員数	92名	186名	630名
事業内容	再生ブレーキ等の製造	ディスクブレーキパッド等の製造	ディスクブレーキおよびドラムブレーキ等の製造